

事務事業名		ふるさと未来づくり研修事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画掲載事業					
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立		事業期間		予算科目					
	施策名	36 市民参加の推進と協働体制の構築									
	基本事業名	03 市民活動推進のための環境づくり									
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	02	01	09	06	
所属	部課名	企画政策部企画調整課									
	係名	企画係	電話 0192-27-3111 内線 216								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 大船渡市未来づくり基金を活用して、活力創生2億円事業補助金を交付されている団体の方々やまちづくり活動に関心のある一般市民を対象に研修会や講演会を開催する。 主な業務は、①講座等の企画、②受講者の募集、③講座の実施。 事業費は、講師の報償費・旅費として支出される。						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
						総投入量 (千円)	事業費		国庫支出金		
							財源内訳		都道府県支出金		
									地方債		
									その他		
									一般財源		
								事業費計(A)			0
						人件費		正規職員従事人数			
								延べ業務時間			
								人件費計(B)			0
								トータルコスト(A)+(B)			0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
・市民活動団体スキルアップ講座の開催 ※東日本大震災の影響により、活力創生2億円事業補助対象団体による活動報告会は中止		ア	活動報告会の開催回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・市民活動団体スキルアップ講座の開催 ※東日本大震災の影響により、活力創生2億円事業補助対象団体による活動報告会は中止		イ	研修会(スキルアップ講座)の開催回数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		ウ	
・まちづくり活動に関心のある市民、団体		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		カ	活動報告会の参加者数
		キ	研修会(スキルアップ講座)の参加者数
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・協働の考え方を理解してもらう。 ・より活発な活動となるよう必要なスキルの修得をしてもらう。		名称	
		単位	
		サ	研修会に参加して今後のまちづくり活動に参考になったと答えた割合
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ	
自主的にまちづくりの一翼を担ってもらう。		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	単位							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	112	298	300	300	300	
	一般財源	千円							
	事業費計(A)	千円	112	298	300	300	300	0	
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	50	50	100	100	100		
	人件費計(B)	千円	200	200	400	400	400	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	312	498	700	700	700	0	
⑤活動指標	ア	回	0	0	1	1	1		
	イ	回	1	1	1	1	1		
	ウ								
⑥対象指標	カ	人	0	0	50	50	50		
	キ	人	38	27	50	50	50		
	ク								
⑦成果指標	サ	%	80	96	80	80	80		
	シ								
	ス								

事務事業ID	0352	事務事業名	ふるさと未来づくり研修事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成16年度から実施され、資金面で市民活動団体を支援する活力創生2億円事業に合わせ、団体運営のノウハウや事業を実施するうえで必要なスキルの習得など、資金面以外の団体支援を行う目的ではじめてのものである。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	大船渡・活力創生2億円事業補助対象団体による活動報告会の聴講をきっかけとして、団体同士が連携し事業を拡大するなど、活発化が図られてきている。また、市内の特定非営利活動法人において市民活動団体のための基礎講座を自ら企画、開催するなど、市民活動や協働に対する意識啓発が図られてきている。 東日本大震災に伴い、活動を休止している団体が多い。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	「市内で活動している団体の様子がわかる場が設定されていることは重要で有益である」「活動するための知識等を学習する機会が提供してほしい」といった意見のほか、今後、更に団体の活動分野に関する専門的な情報や、行政による活動支援に関する情報が必要である等の意見もある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 当事業はまちづくりへの市民参加の推進と協働体制の構築を目的とするものであり、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 本市における市民との協働のまちづくりを推進するためには、大船渡・活力創生2億円事業による団体の活動の直接的な支援を展開しながら、「協働」「自立」「パートナーシップ」といった考え方の意識啓発を行っていく必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市民の間に協働の考え方を定着させるため、現在、まちづくりに取り組んでいる人たちに限らず、広くまちづくりに関心がある人々を対象に、協働の概念や望ましい協働のあり方などについて学ぶことを狙いとして行っているものであり、対象、意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 活動報告会の開催、団体の取り組みについての広報、団体向け研修会の開催及びさまざまな情報を共有する機会を設けるなどにより、より活発な団体活動を推進することができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 公益を担う団体として継続的に活動してもらうためには、研修事業や情報提供等の行政による側面的な支援が不可欠である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ NPO等市民活動団体のスキルアップを図りながら、協働を推進していく事務事業は他にはない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 中間支援を事業とするNPOや震災後に外部から支援を目的として市内に入っているNPO等との連携により、事業費の削減余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 中間支援を事業とするNPOや震災後に外部から支援を目的として市内に入っているNPO等との連携により、人件費の削減余地がある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市民活動団体等に対して公平に情報提供を行いながら、セミナーなどへの参加機会を均等に提供している。

事務事業ID	0352	事務事業名	ふるさと未来づくり研修事業
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成23・24年度は東日本大震災の影響により、活力創生2億円事業補助対象団体による活動報告会を中止としたが、補助金交付要綱を改正し、資金面での団体支援を強化した。また、市民と行政との適切な役割分担のもと、共に協力して地域の課題解決や早期復興に向け取り組んでいくための「スキルアップ講座」を開催し、市民活動団体等の人材育成に努めた。																					
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 中間支援を事業とするNPOや震災後に外部から支援に入っているNPO等は、市民活動に関する数多くのノウハウを持っていることから、これらと連携することにより事業費や市職員の人件費を削減しながら、市内に由来からある市民活動団体を支援していくことができる。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	●																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
行政と市民活動団体間や同団体間での情報共有、協働の意識啓発に関わるセミナーや補助金制度説明会・会計講座など団体の事業運営を支援するようなセミナーの開催及び市民活動団体の相談受け先の充実などにより、より活発な団体活動を推進することができる。																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	企画政策部企画調整課長
-------	-------------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	団体相互の情報共有の場を増やすことが必要。市独自の取り組みにも限界があり、民間団体からの支援を考える必要がある。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 各種団体の活動状況について発表し合い、これからのまちづくりについて意見交換する場を設ける。	左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	●																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
